

月例会「長期予報・大気大循環」のお知らせとプログラム

日時 1977年2月24日(木) 9.30—12.00

会場 気象庁予報部会議室(4F)

発表題目

1. 荒井 康(気象庁長期): 月平均 500mb 偏差パターンの分類
2. 力武恒雄(名古屋地台): 冷夏年および暑夏年におけるチベット高気圧周辺のうず度分布について
3. 森 信成(気研予報): 上部対流圏年平均気温場の経年変化
4. 広瀬元孝(気研予報): 極東域 500mb 高度場の3か月予報
5. 須田滝雄: 地磁気活動度より予測される今後1, 2年の日本の気候

関西支部・例会講演要旨集の販売について

関西支部では、12月7日高松市で第2回例会を開きましたが、この講演内容を掲載した例会講演要旨集第5号を刊行しています。残部が少しありますので購入を希望される方は関西支部事務局まで甲込んで下さい。

中小規模現象

1. 香川・愛媛両県における夏季の気象と O_x の関係について
高松 福永 光男…… 1
2. O_x 高濃度出現の局地性について
呉 根山 芳晴…… 5
3. 呉における接地逆転の実際の予報法について
呉 京 格…… 8
山本 和三
根山 芳晴
4. 大分市における海陸風と SO_2 濃度の関係について
大分工専 阿部 信男……11
楠田 信
5. 陸と海の摩擦のちがいによるフロントの形成

- 京大理 奥田 昌弘……14
6. 気象衛星による台風7617号の進路と連続豪雨帯(約6日間)について 大阪航空 岡林 俊雄……16
 7. リチャードソン数からみた土佐沖低気圧の発生について 松山 丸本 一雄……18
 8. 西日本の周辺海域で発生した中間規模じょう乱——土佐沖低気圧を含む——
高知 滝野 一郎……20
武市 智
 9. 主として実測値による土佐沖低気圧発生判定について 徳島 横田 安彦……23
仁木 伸一
 10. 南岸低気圧の発生機構について
高松 長久 昌弘……25
坂田 俊夫
価格 200円 送料 140円

IAMAP (国際地球物理学連合気象分科会) の総会について

IAMAP 総会が下記のように行なわれます。論文発表希望者はアブストラクト(10.4 cm×20 cm の用紙に、表題・著者名・所属・要旨をタイプ)を IAMAP 幹事: S. Ruttenberg (NCAR, P.O. Box 3000, Boulder, Co. 80307, USA) のところへ、またその写しを関連するセ

ッションの Convener のところに、昭和52年3月31日までに送付することになりました。詳細については岸保勘三郎(東京都文京区弥生町 2-11-16, 東大理学部, 地球物理)まで御連絡下さい。